

研究名： 出生前検査受検者の受検時と分娩後の心理的变化の検討

1．研究の目的

女性は妊娠・出産に伴い、産後うつを始めとするメンタルヘルスの問題を抱えやすいことが知られています。ホルモンの変動や出産や育児による負担など複合的な要因があると考えられていますが、いまだに明確な要因や機序は解明されていません。本研究では、出生前検査がメンタルヘルスの状態とどのように関連しているのかについて解析を行います。これにより、早期に産後うつなどの周産期のメンタルヘルスの問題を早期発見・予防し、有効な治療介入につなげることが本研究の目的です。

2．研究の方法

研究対象：2018年8月～2021年1月までに当院周産期・母性診療センターを妊娠分娩のために産科初診を受診しエジンバラ産後うつ病質問票と赤ちゃんの気持ち質問票を取得した妊産婦

研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年12月

研究方法：後方視的に診療情報録より取得した周産期遺伝外来の受診の有無および検査内容とエジンバラ産後うつ病質問票や赤ちゃんの気持ち質問票、産後うつの発症の相関を検証する。

3．研究に用いる情報の種類

病歴、診断、検査データ 等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守されます。**

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**5月31日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター こころの診療部 関戸雄貴

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181 (内線：7330)

研究責任者：

国立成育医療研究センター こころの診療部 関戸雄貴